

### 2001年第35週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信 / 保健所通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾病集計表
- 疾病別グラフ
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表

### 2001年8月報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 疾病別グラフ
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 医療圏別累計表

### 感染症豆知識

- 猛威を振るうコレラ

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp / IDSC /



**(全数情報)**

- ・コレラが 1件報告された。小川型コレラ菌が検出されており、国内での感染が推定されている。
- ・細菌性赤痢が 6件報告された。全てソネ菌が検出されている。推定感染地は、タイ 3件、トルコ 1件、中国 1件、国内 1件である。
- ・パラチフスが 1件報告された。推定感染地はインドネシアである。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が 3 1件報告された。いずれも O157 であった。  
毒素産生性別では、VT1+ VT2 : 25件、VT2 : 5件、VT陽性 : 1件である。
- ・アメーバ赤痢が 1件報告された。推定感染地は不明である。
- ・急性ウイルス性肝炎が 1件報告された。A型で、カンボジアでの感染が推定されている。
- ・HIV感染症が 8件報告された。無症候性キャリアが 3件、AIDSが 5件である。  
推定感染経路は、異性間性的接触が 1件、同性間性的接触が 4件、海外での輸血が 1件、不明が 2件である。
- ・ジアルジア症が 2件報告された。1件はミャンマーでの経口感染、1件は国内での感染が推定されている。
- ・デング熱が 1件報告された。タイ・カンボジアでの感染が推定されている。
- ・梅毒が 2件報告された。いずれも早期顕症梅毒で、それぞれ中国及び国内での異性間性的接触での感染が推定されている。
- ・マラリアが 1件報告された。熱帯熱マラリアで、ガーナでの感染が推定されている。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

**(定点情報)**

- ・マイコプラズマ肺炎が増加している。成人麻疹の報告が続いている。

**(病原体情報)**

- ・定点病院から搬入された検体から検出された MRSA 1株は コアグラ - ゼ 型、菌株で搬入された MRSA 2株は 型が 1株、 型が 1株であり、溶血性レンサ球菌 1株の T型は 4型であった。
- ・胃腸炎患者 2名の糞便および咽頭炎と下痢の患者各 1名の咽頭拭い液からアデノウイルスが検出された。
- ・肺炎患者とヘルパンギ - ナ患者の咽頭拭い液からそれぞれエンテロウイルスが検出された。
- ・伝染性紅斑患者 1名および不明発疹患者 2名 (家族内流行) の咽頭拭い液からパルボウイルス B 19 が検出された。
- ・感染性胃腸炎患者の糞便と咽頭拭い液からアデノウイルス 3型が分離された。
- ・肺炎患者の咽頭拭い液からアデノウイルス 3型が分離された。

## (その他の情報)

今週のウイルス関連検体搬入状況は、上・下気道炎、発疹性疾患がそれぞれ約30%、脳・神経系疾患が20%を占め、その他、胃腸炎、肝機能障害などによるものであった。

### 調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

#### 練馬

・百日咳の患者は、生後6ヶ月の男児。激しい咳そう、白血球12,600(リンパ球89%)、百日咳凝集抗体値(東浜株80倍、山口株40倍)、DPT未接種。

## 全数届出患者数一覧表 2001年35週

分類	疾病名	東京都分（報告週）				全国分(診断週)
		32週	33週	34週	35週	35週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ・ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ	1	1		1	1
	細菌性赤痢		4	4	6	19
	腸チフス	1	1			1
	パラチフス				1	1
	急性灰白髄炎					
	ジフテリア					
三類	腸管出血性大腸菌感染症	20	20	21	31	218
四類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	1	1	1	3
	エキノкокクス症					
	黄熱					
	オウム病					
	回歸熱					
	ウイルス性肝炎（急性肝炎）	1	5	1	1	10
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症					
	クロイツフェルト・ヤコブ病					1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					
	後天性免疫不全症候群	6	6	8	8	8
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症	1		2	2	2
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎					
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病					1
	デング熱	1	2		1	
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ボツリヌス症					
	梅毒	5	3	2	2	6
	破傷風			1		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		1
ハンタウイルス肺症候群						
Bウイルス病						
ブルセラ症						
発疹チフス						
マラリア	1		4	1	1	
ライム病	1	1			2	
レジオネラ症						

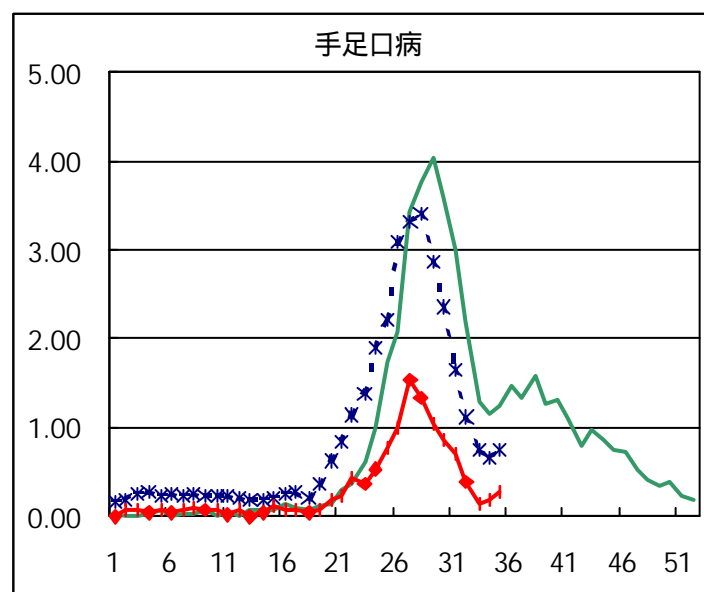
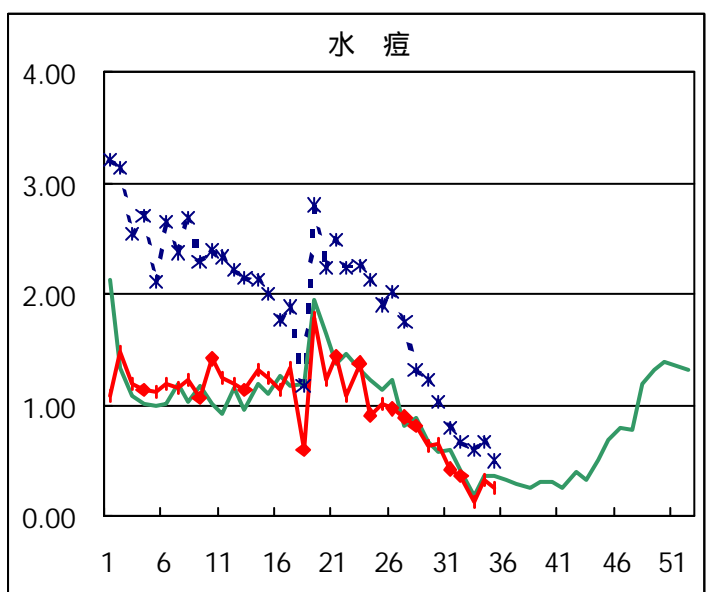
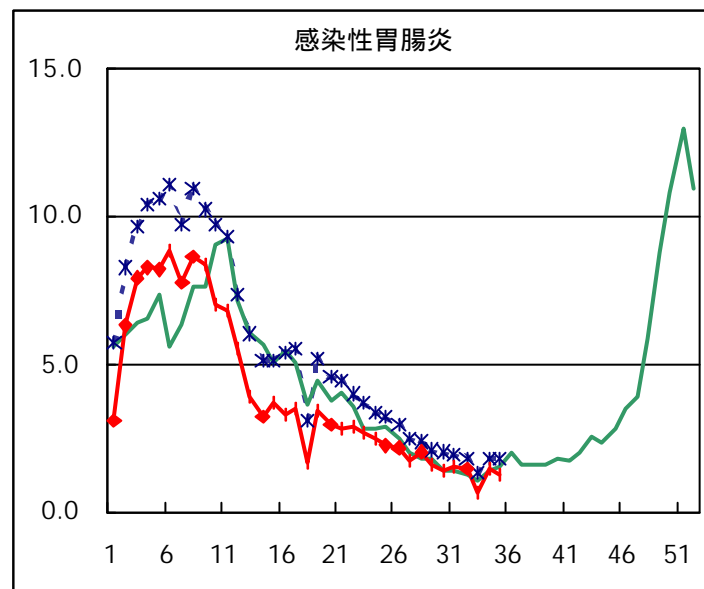
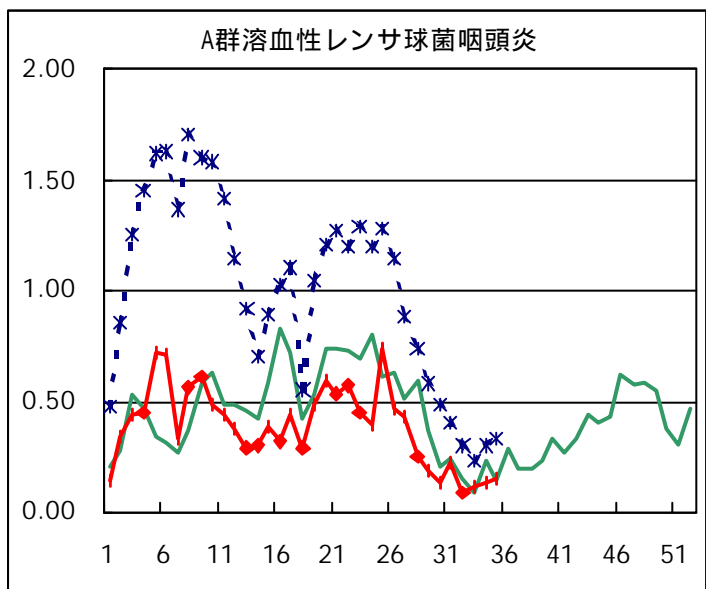
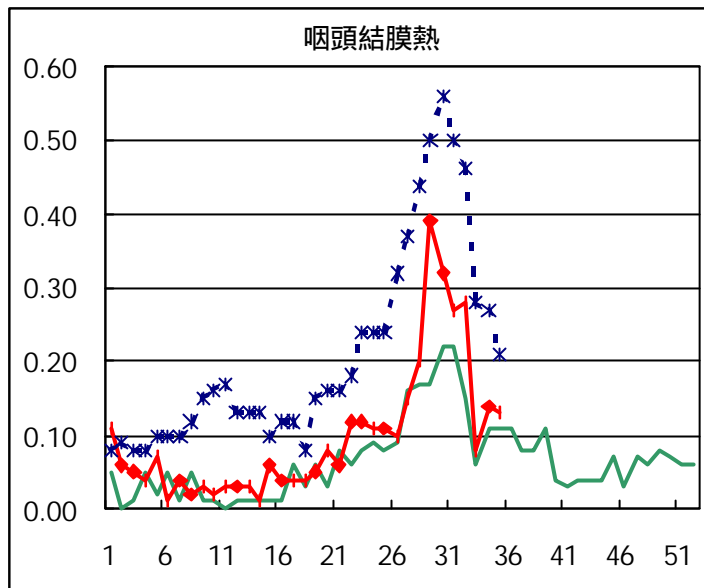
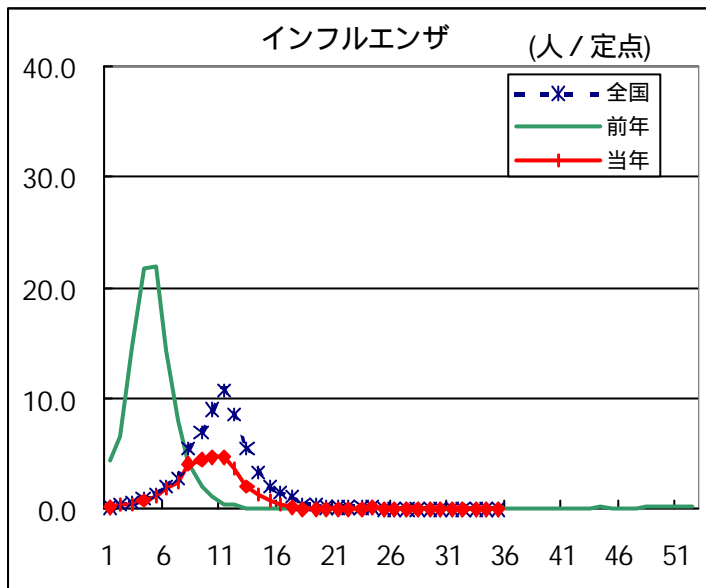
東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/09/07集計)

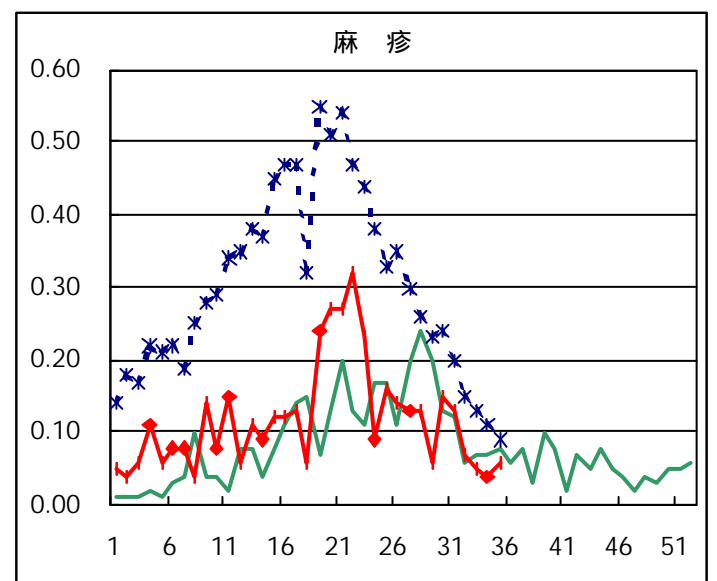
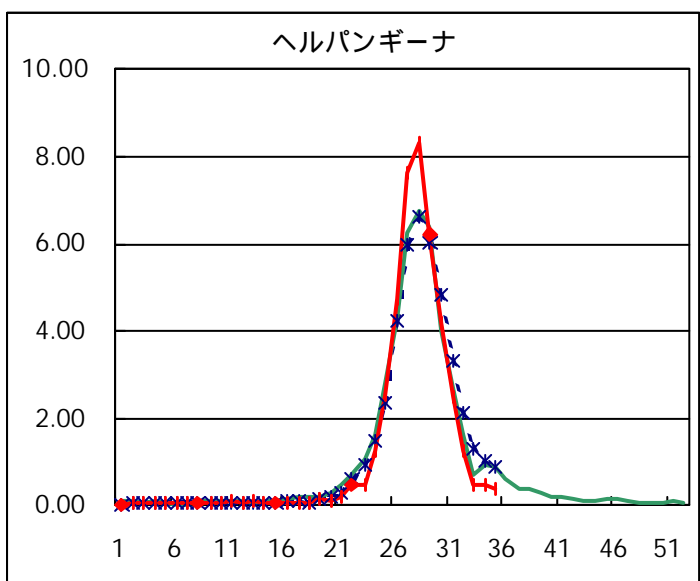
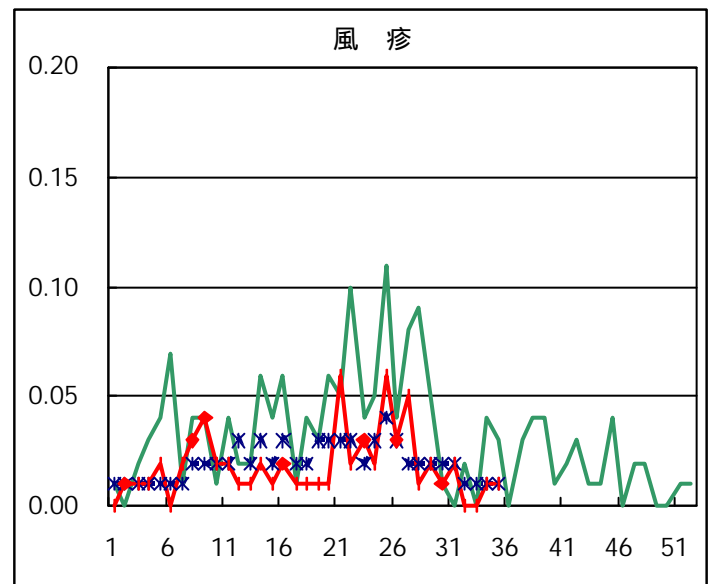
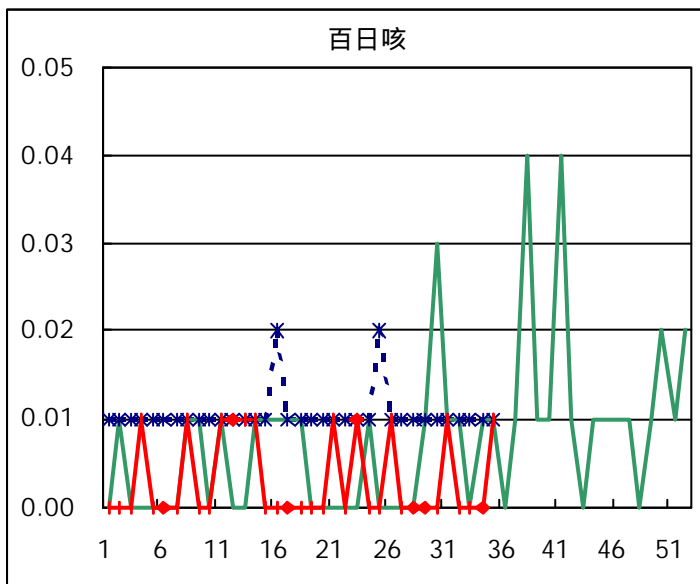
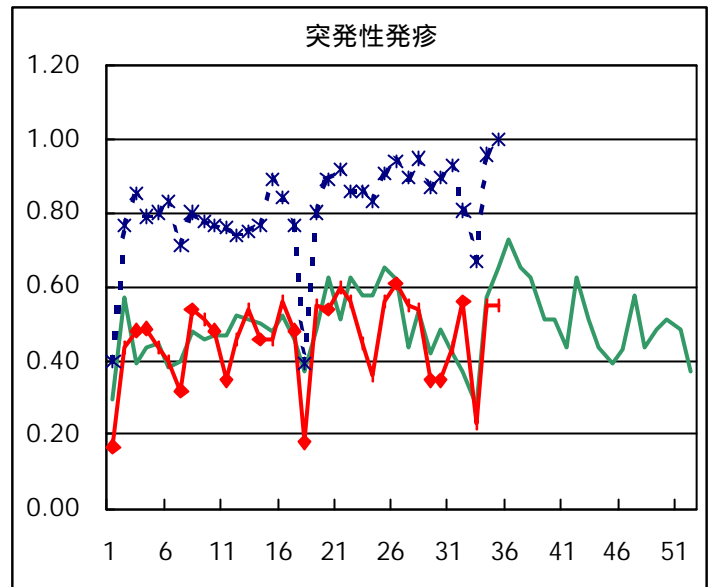
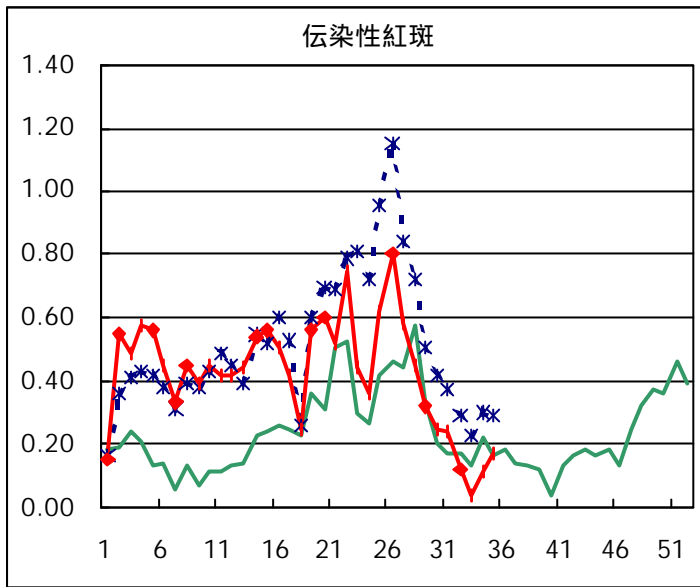
## 定点報告疾病集計表（男女別）

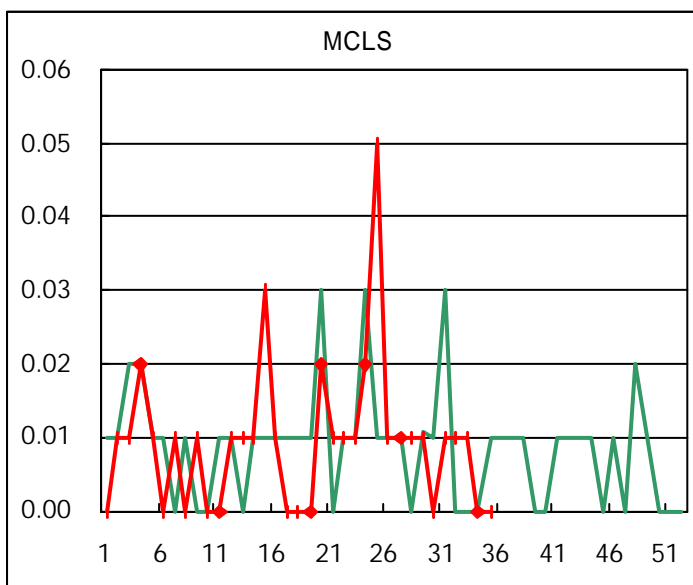
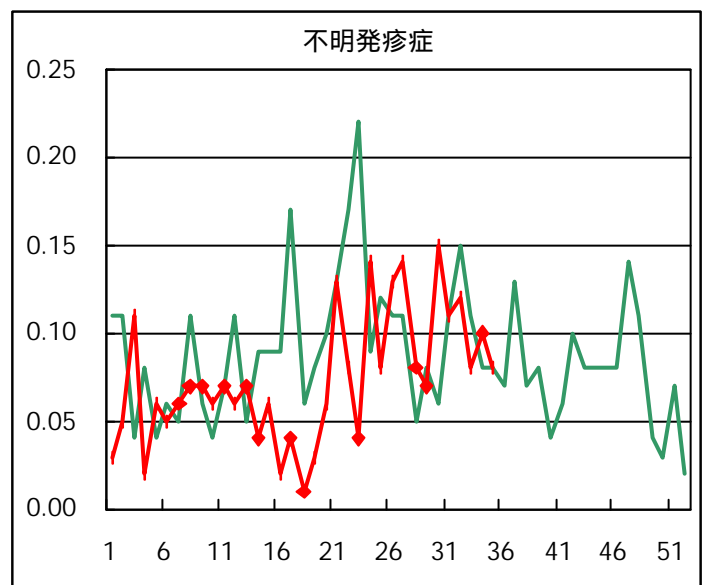
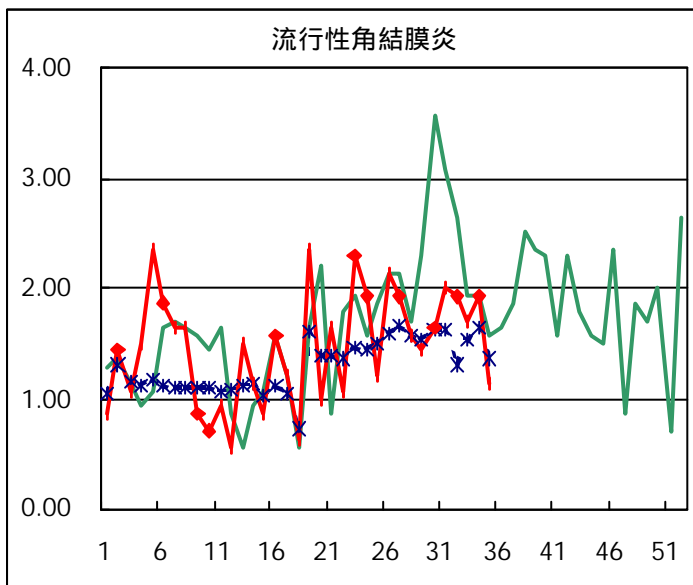
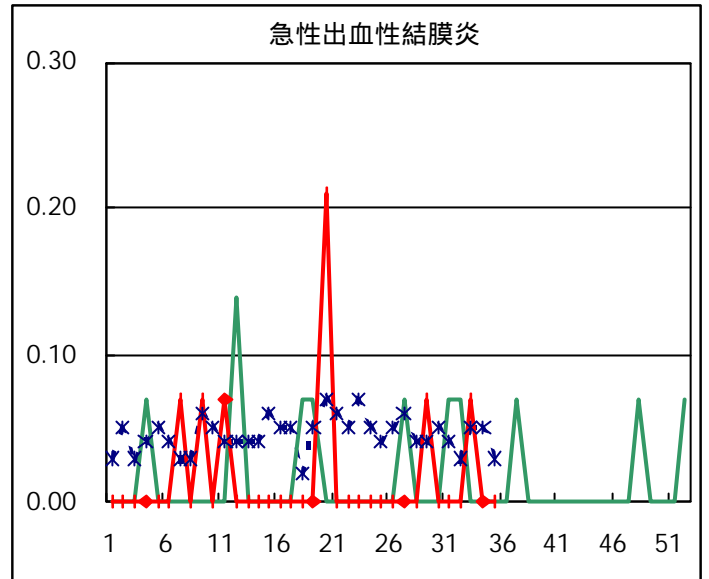
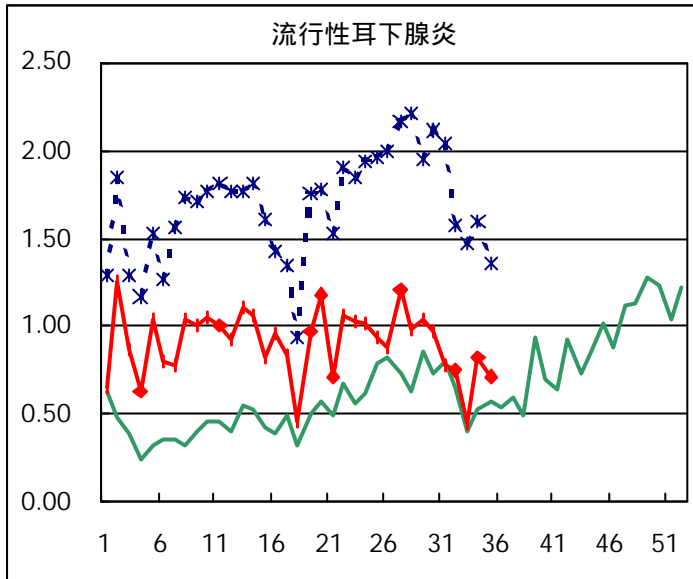
疾病名	性	2001年 週				累計
		32	33	34	35	
インフルエンザ	男					
	女					
咽頭結膜熱	男	22	6	10	12	50
	女	18	5	10	6	39
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	8	9	9	10	36
	女	4	6	10	12	32
感染性胃腸炎	男	106	62	116	91	375
	女	100	30	88	92	310
水痘	男	20	12	19	21	72
	女	33	8	28	18	87
手足口病	男	35	8	15	22	80
	女	21	14	12	19	66
伝染性紅斑	男	8	3	8	10	29
	女	9	2	8	14	33
突発性発疹	男	39	17	44	38	138
	女	41	16	34	40	131
百日咳	男				1	1
	女					
風疹	男					
	女			1	1	2
ヘルパンギーナ	男	101	27	41	29	198
	女	80	37	24	27	168
麻疹(成人以外)	男	3	4	3	4	14
	女	7	3	2	5	17
流行性耳下腺炎	男	53	33	66	56	208
	女	54	30	51	45	180
不明発疹症	男	9	7	4	7	27
	女	8	4	10	4	26
M C L S	男	1				1
	女		1			1
急性出血性結膜炎	男					
	女		1			1
流行性角結膜炎	男	17	15	12	7	51
	女	10	9	15	9	43
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男					
	女			1		1
無菌性髄膜炎	男	1	1	1	3	6
	女		2			2
マイコプラズマ肺炎	男		1		1	2
	女				3	3
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男	3	3	5	2	13
	女	1	2	4	1	8

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

# 疾病別グラフ

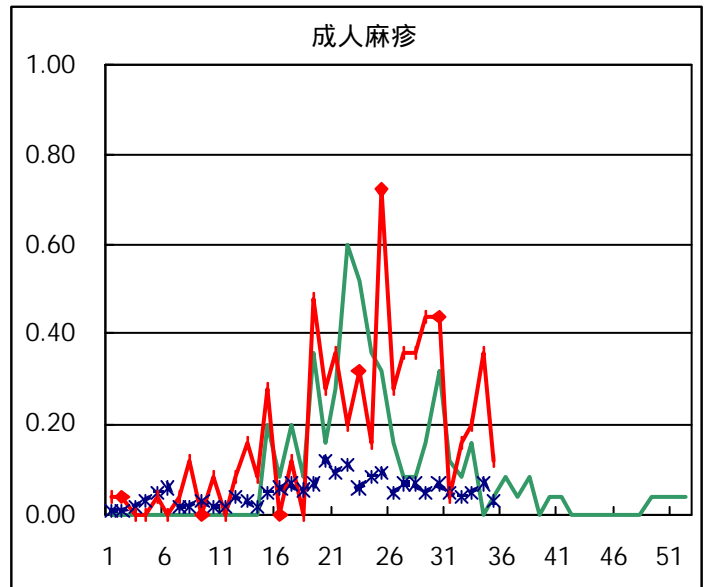
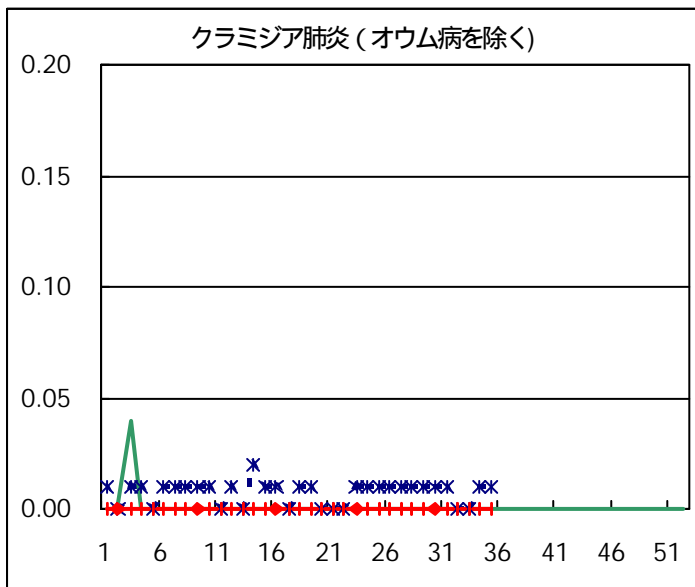
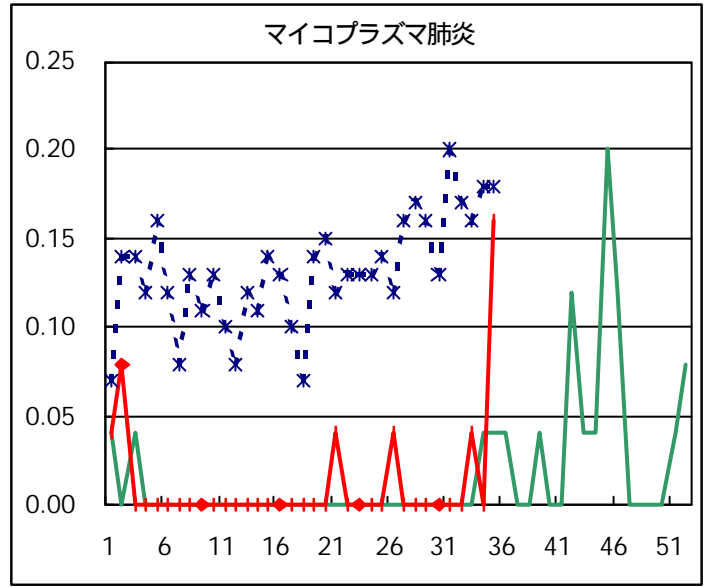
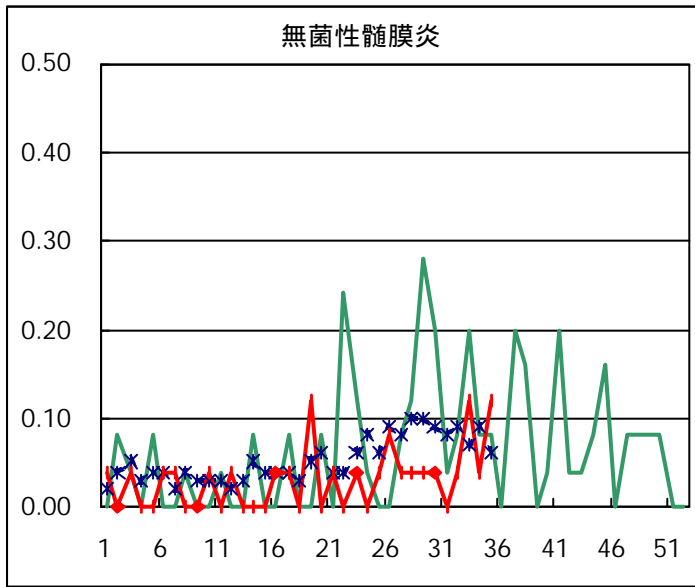
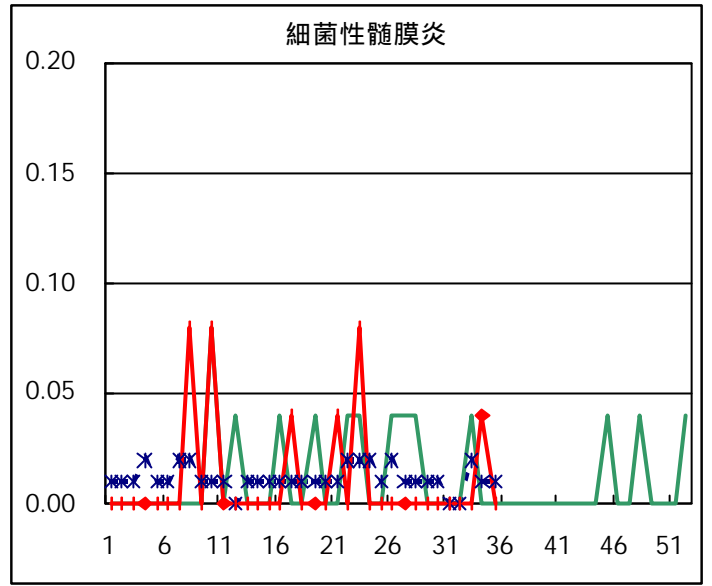
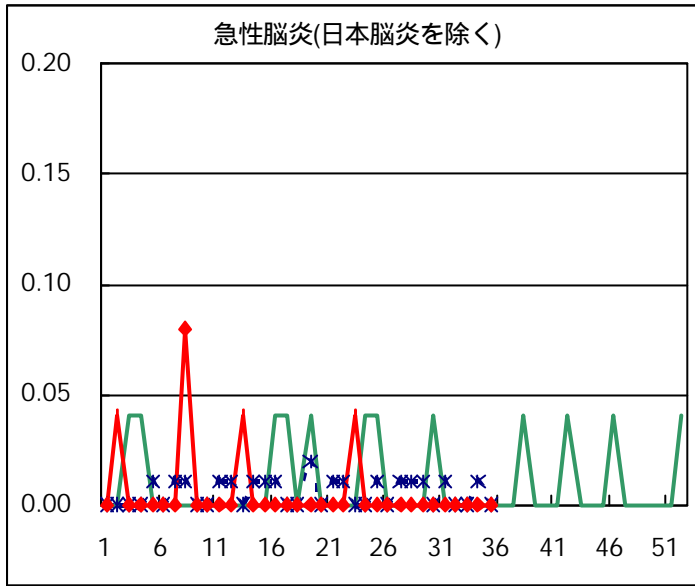






疾病別の定点医療機関数	
疾 病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	





年齢階級別累計表(2001年 35週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
～6ヶ月				2		1	1	7			1						
～1歳				10	1	2	2	47	1		14		2			4	
1歳		1		16	5	17		22			12	1	9			1	
2歳		1	1	13	12	10	1	1			4	2	9			1	
3歳		5	4	14	7	2	4				6	2	12				
4歳		3	3	23	7	3	3			1	8	1	15		1	1	
5歳		2	1	13	4	4	3				6		13				
6歳		2	2	6	2	1	6				2		12			1	
7歳		1	2	10			3				1	1	2				
8歳			1	6									2				
9歳		1	2	6	1			1					3		1		
10～14歳		2	2	16			1				2	1	14		1	2	
15～19歳				4									1			1	
20～29歳			4	44		1						1	7		4		
30～39歳															6		
40～49歳															3		
50～59歳																	
60～69歳																	
70～79歳																	
80歳以上																	
合計	0	18	22	183	39	41	24	78	1	1	56	9	101	0	16	11	0
先週比	0	-2	3	-21	-8	14	8	0	1	0	-9	4	-16	0	-11	-3	0

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年35週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央				3	1			1			1							6
世田谷				7	3		1	9			3		3			1		27
渋谷区				17	5		1	3			1	1	4					32
池袋						1		2							2			5
長崎				2				1			1							4
荒川				8	1						3		1					13
足立		1	2	12				3			3		2					23
葛飾			5	7	3	3	4	10			4		4			2		42
江戸川		4	1	5	2	3	1	6		1	1		7					31
台東		2	1	8	3		1	1			6		5					27
目黒区		1	2		1	1	1											6
大田区		1	1	11	2	2		1			9		3					30
杉並				4									1					5
北区		2	1	1	2	3	3	8					1					21
板橋区				6	1	2	4	3			1		4					21
みなと			1				1	1			1		1		2			7
中野区				11	1		1	2			3	1	4					23
新宿区			1	19	1	5	1	2			2	2			3	1		37
品川区			1	6	4		1	2					5					19
千代田				1	2			3				1	1					8
練馬区		3	2		2	2		1	1				4					15
文京				1	1			1				1	3		1			8
墨田区								1										1
江東区			1	9	2	1		1			1		7		3	2		27

保健所別累計表 (2001年35週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子						5	1				1	3	1		2			13
町田				17	1	5		2			10		2					37
島しょ			1					1								1		3
多摩川		1			1	3		3					12					20
秋川																		
南多摩				5		1	1				1		4					12
多摩立川				5				1					3					9
村山大和			1	4				2			1		2		2	3		15
府中小金井								2					5			1		8
狛江調布				1			1	2			2		4					10
三鷹武蔵野			1	2									2		1			6
多摩小平		2		9		2		1					2					16
多摩東村山		1		2		2	1	2			1		4					13

東京都合計	-	18	22	183	39	41	24	78	1	1	56	9	101	-	16	11	-	600
定点当り報告数	-	0.13	0.15	1.29	0.27	0.29	0.17	0.55	0.01	0.01	0.39	0.06	0.71	-	1.14	0.08	-	

## 発生動向総覧 (月報告分) 2001年8月分

### **(性感染症)**

トリコモナスの患者報告数が前月に比べ増加した。淋病様疾患の報告数は3月以来増加傾向にあったが8月は減少に転じ、尖形コンジロームの報告数も前月に比べ減少した。また、梅毒様疾患の報告数も少なく、前年に比べると1/4以下である。性器クラミジア、性器ヘルペスは大きな変化はない。

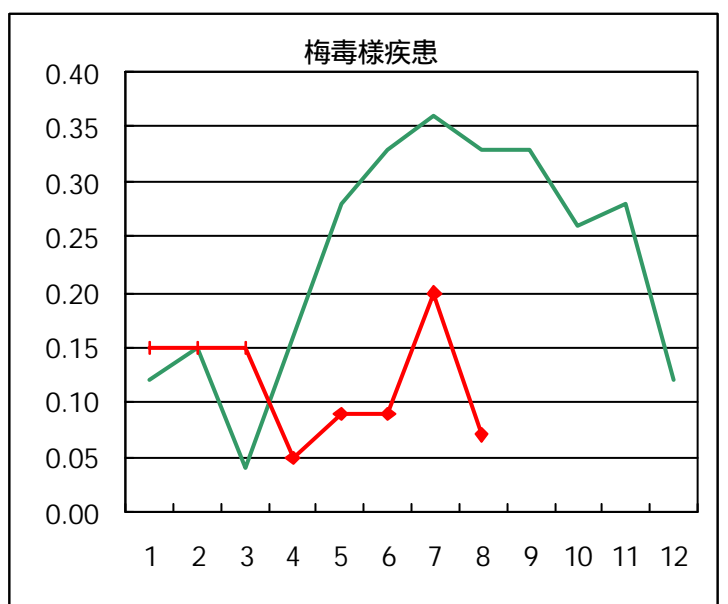
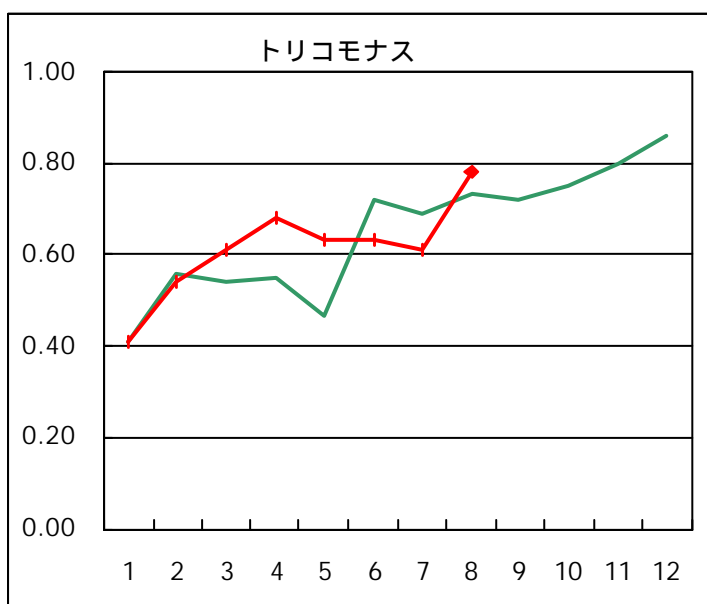
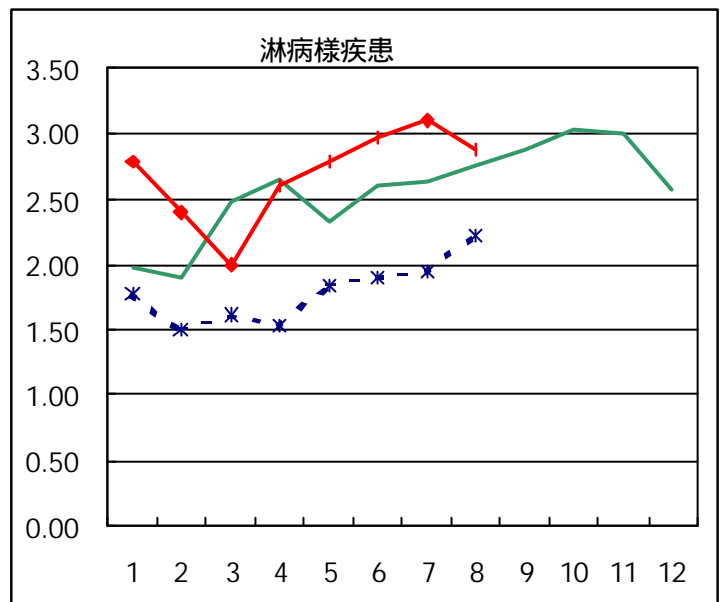
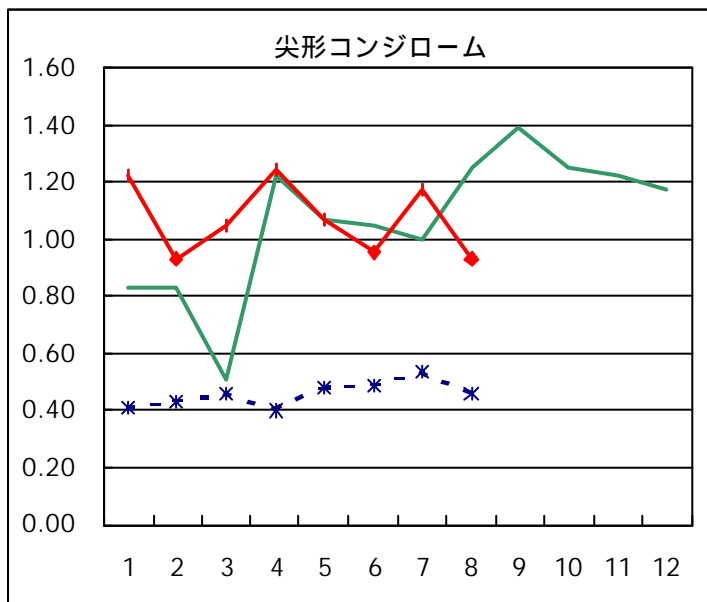
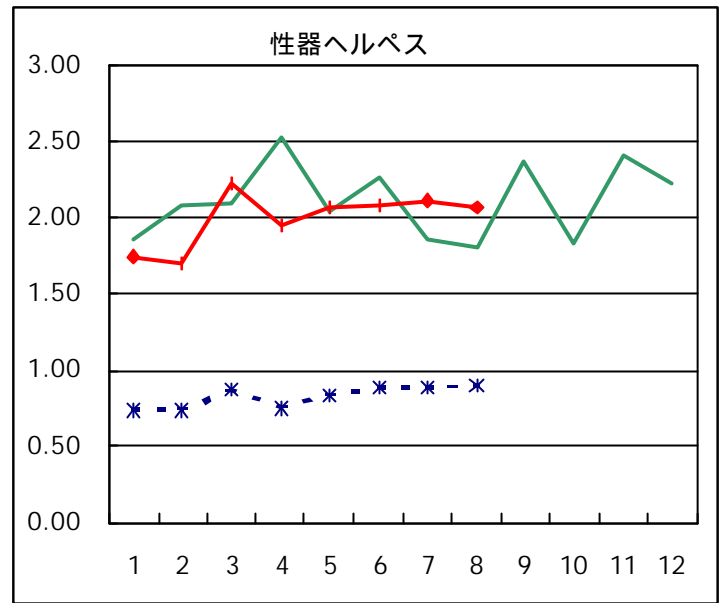
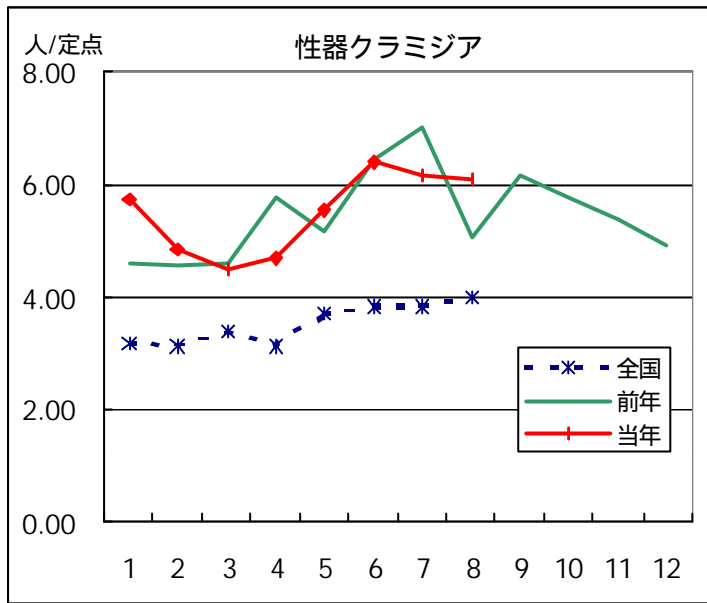
### **(基幹定点疾病)**

前月に比べ、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症及び薬剤耐性緑膿菌感染症の報告数は増加したが、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告数は減少した。

## 調査票通信 定点医療機関からのコメントを掲載

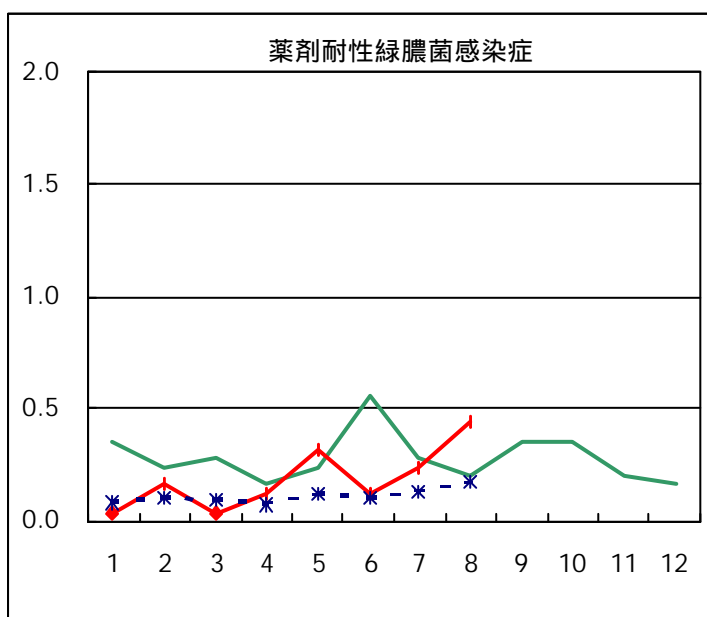
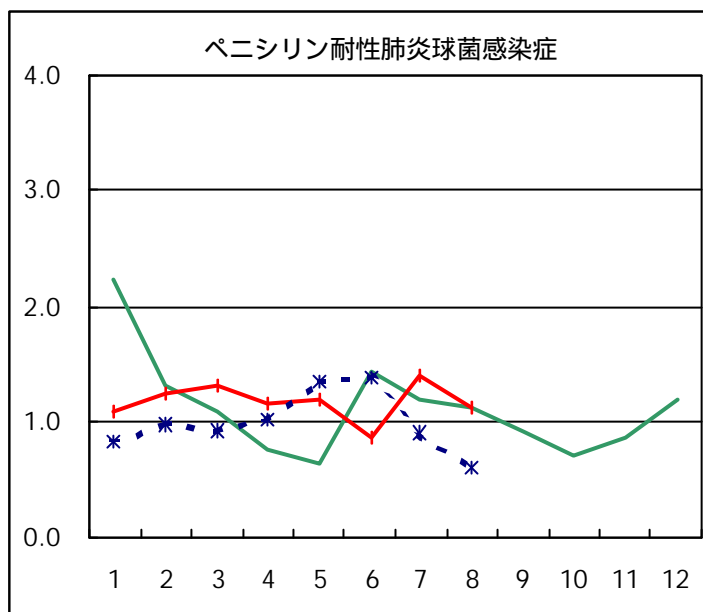
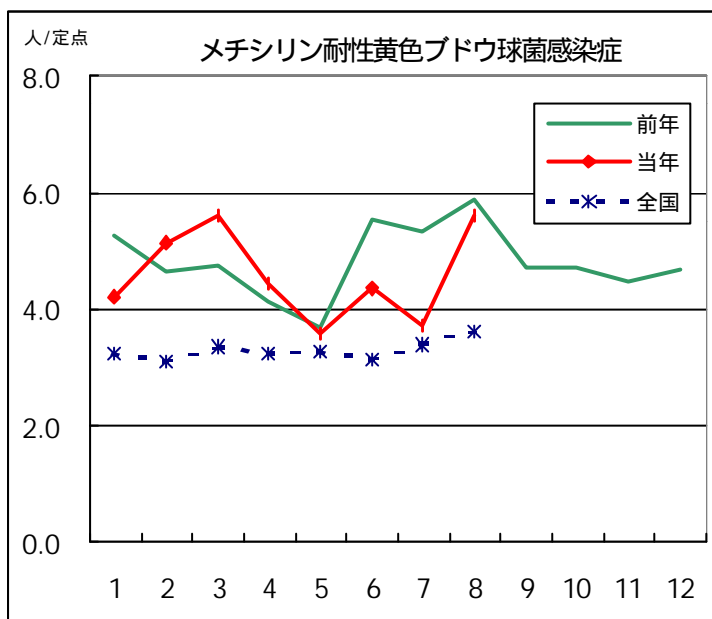
今月は、定点医療機関からのコメントはありません。

# 疾病別グラフ



基幹定点報告疾患集計 (2001年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	105	129	140	111	89	109	93	140					916
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	27	31	33	29	30	22	35	28					235
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	4	1	3	8	3	6	11					37



疾病別の定点医療機関数	
疾 病	医療機関数
梅毒	41
淋菌様疾患	
性器クラミジア	
性器ヘルペス	
尖形コンジローム	
トリコモナス	25
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	
薬剤耐性緑膿菌感染症	

S T I 年齢階級別累計表 ( 8 月 )

男						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			4	1	1	4
20～24歳		1	26	4	3	24
25～29歳			32	9	4	19
30～34歳		1	23	7	5	18
35～39歳			15	6	7	13
40～44歳			12	5	1	3
45～49歳			5	4	1	4
50～54歳			1	2	1	5
55～59歳			1	2	2	
60～64歳				2		
65～69歳				1	1	1
70～歳						
合計	0	2	119	43	26	91
先月数	1	5	142	34	34	101
増減数	-1	-3	-23	9	-8	-10

女						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	1		13		5	1
20～24歳	8		35	4	6	11
25～29歳	9		50	8	1	10
30～34歳	1		20	10		1
35～39歳	4	1	8	9		3
40～44歳	1		2	5		
45～49歳	2		3	1		
50～54歳	4			2		
55～59歳						1
60～64歳						
65～69歳	2			1		
70～歳				2		
合計	32	1	131	42	12	27
先月数	24	3	111	53	14	26
増減数	8	-2	20	-11	-2	1



### S T I 保健所別累計表（8月）

男								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	2			3	3	1	1	8
渋谷区	3			9	1		5	15
池袋	3		1	26	7	8	9	51
荒川	1							
足立	1			5		1	6	12
台東	5				1			1
大田区	3							
北区	1				1	2	2	5
板橋区	2			10		2	3	15
みなと	2			8	7	2	12	29
中野区	1			9	3		1	13
新宿区	5			16	2	1	12	31
品川区	1							
文京	1							
墨田区	1			5	4	2	1	12
江東区	2		1	17	6	4	19	47
八王子	3							
町田	1							
多摩立川	2			1	2		12	15
三鷹武蔵野	1			10	6	3	8	27
総計	41		2	119	43	26	91	281
定点当り		0.00	0.05	2.90	1.05	0.63	2.22	6.85

女								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	2			1			1	2
渋谷区	3							
池袋	3	1		18	3		6	28
荒川	1							
足立	1			1				1
台東	5	23		52	17	2	5	99
大田区	3				1			1
北区	1							
板橋区	2							
みなと	2		1	10	3		1	15
中野区	1							
新宿区	5			22	8	5	8	43
品川区	1							
文京	1							
墨田区	1				2			2
江東区	2	2		4		1	1	8
八王子	3	3		14	1	4	1	23
町田	1	2			2			4
多摩立川	2	1		4	1		2	8
三鷹武蔵野	1			5	4		2	11
総計	41	32	1	131	42	12	27	245
定点当り		0.78	0.02	3.20	1.02	0.29	0.66	5.98

STI保健所別定点当り累計表（8月）

男							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	大腸 コンジロー ム	淋病様疾患
中央	2			1.50	1.50	0.50	0.50
渋谷区	3			3.00	0.33		1.67
池袋	3		0.33	8.67	2.33	2.67	3.00
荒川	1						
足立	1			5.00		1.00	6.00
台東	5				0.20		
大田区	3						
北区	1				1.00	2.00	2.00
板橋区	2			5.00		1.00	1.50
みなと	2			4.00	3.50	1.00	6.00
中野区	1			9.00	3.00		1.00
新宿区	5			3.20	0.40	0.20	2.40
品川区	1						
文京	1						
墨田区	1			5.00	4.00	2.00	1.00
江東区	2		0.50	8.50	3.00	2.00	9.50
八王子	3						
町田	1						
多摩立川	2			0.50	1.00		6.00
三鷹武蔵野	1			10.00	6.00	3.00	8.00

女							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	大腸 コンジロー ム	淋病様疾患
中央	2			0.50			0.50
渋谷区	3						
池袋	3	0.33		6.00	1.00		2.00
荒川	1						
足立	1			1.00			
台東	5	4.60		10.40	3.40	0.40	1.00
大田区	3				0.33		
北区	1						
板橋区	2						
みなと	2		0.50	5.00	1.50		0.50
中野区	1						
新宿区	5			4.40	1.60	1.00	1.60
品川区	1						
文京	1						
墨田区	1				2.00		
江東区	2	1.00		2.00		0.50	0.50
八王子	3	1.00		4.67	0.33	1.33	0.33
町田	1	2.00			2.00		
多摩立川	2	0.50		2.00	0.50		1.00
三鷹武蔵野	1			5.00	4.00		2.00

2次医療圏別累計表（2001年8月） 総計 患者報告数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
区中央部	23	1	74	31	5	20	154
区南部				1			1
区西南部			9	1		5	15
区西部			47	13	6	21	87
区西北部	1	1	54	11	12	20	99
区東北部			6		1	6	13
区東部	2	1	26	12	7	21	69
西多摩							
南多摩	5		14	3	4	1	27
北多摩西部	1		5	3		14	23
北多摩南部			15	10	3	10	38
北多摩北部							
島しょ							
計	32	3	250	85	38	118	526

2次医療圏別累計表（2001年8月） 総計 定点当たり発生数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	定点数
区中央部	2.09	0.09	6.73	2.82	0.45	1.82	11
区南部				0.25			4
区西南部			3.00	0.33		1.67	3
区西部			7.83	2.17	1.00	3.50	6
区西北部	0.17	0.17	9.00	1.83	2.00	3.33	6
区東北部			3.00		0.50	3.00	2
区東部	1.00	0.50	13.00	6.00	3.50	10.50	2
西多摩							0
南多摩	1.25		3.50	0.75	1.00	0.25	4
北多摩西部	0.50		2.50	1.50		7.00	2
北多摩南部			15.00	10.00	3.00	10.00	1
北多摩北部							0
島しょ							0
計	0.78	0.07	6.10	2.07	0.93	2.88	41

## 猛威を振るうコレラ

東京都医師会感染症予防検討委員会

コレラはコレラ菌の感染によって起こる急性の経口感染症で、感染症法において二類感染症に位置付けられている。典型例では、激しい下痢と嘔吐をもって発症し、米のとぎ汁様水様性下痢便を大量に排泄し、脱水状態に陥る。下痢は、コレラ菌が小腸に定着・増殖の際産生する蛋白性毒素（コレラ毒素と呼ばれる）が、小腸粘膜上皮細胞の電解質と水の代謝に破綻をもたらすため起こる。発熱、腹痛は通常認められない。しかし、わが国における患者では、このような典型的な経過を取るものは少なく、比較的軽症あるいは軽い下痢程度ですむことのほうが多い。定型的な症例では臨床診断も可能であるが、軽症例では細菌学的検査によらない限り診断は不可能である。

現在世界は1961年にインドネシアから始まった第7次パンデミー下にある。本流行は、これまでの古典型コレラ菌に変わるエルトール型コレラ菌によるもので、瞬く間にアジア全域、アフリカ、欧米へと拡大した。1991年には、これまでコレラの発生がなかった南米大陸に侵入した。現在も世界中で猛威を振るっており、終息する兆しは全く見られない。

わが国におけるコレラの発生は、終戦直後の引揚者による発生以降ほとんど認められなかった。しかし、海外旅行者や輸入魚介類などの著しい増加に伴い、1975年を境として毎年相当数報告されている。1991～2000年の最近10年間では1,084人報告された。海外旅行者による輸入例が919人と85%を占めているが、海外とは直接関連のない事例も毎年認められる。

（文責・松下 秀）